

「公益信託ENEOS水素基金」2015年度 助成対象者の決定について

～水素エネルギーによる持続可能な社会の実現に向けて～

記者各位

当社(社長:杉森 務)が設立した「公益信託ENEOS水素基金(運営委員長:堂免一成東京大学工学系研究科教授、受託者:三井住友信託銀行)」は、2015年度の助成対象者を次の5名に決定しましたので、お知らせいたします。

(敬称略)

大尾 岳史 (だいお たけし)	九州大学水素エネルギー国際研究センター 学術研究員
磯部 繁人 (いそべ しげひと)	北海道大学大学院工学研究院材料科学専攻 特任助教
張 浩徹 (ちゃん ほちよる)	中央大学理工学部応用化学科 教授
天尾 豊 (あまお ゆたか)	大阪市立大学複合先端研究機構 教授
近藤 剛弘 (こんどう たかひろ)	筑波大学数理物質系物質工学域 准教授



当社は、水素エネルギー社会の早期実現に貢献することを目的に、2006年3月、本基金を創設しました。本基金は、水素エネルギー供給に関する研究助成に特化した公益信託としては我が国初のものであり、水素エネルギー供給に関する「独創的かつ先導的な基礎研究」に対し、年間総額5千万円(1件あたりの上限は1千万円)の研究助成金を約30年間にわたり安定的に交付することが可能な規模を有しています。

本年度は、63件の応募の中から、本基金の運営委員会による厳正な審査を経て、上記助成対象者を決定しました。

本基金の助成対象となる研究の成果が、水素エネルギーによる持続可能な社会の実現に役立つことを期待しています。

以上

● 別添資料

-  添付1:2015年度 助成対象者および研究テーマ(PDF:94.9 KB/1ページ)
-  添付2:「公益信託ENEOS水素基金」の概要(PDF:112.1 KB/1ページ)